

## 「南砺・令和の教育改革」地域説明会

◎代表的な質疑応答、アンケートを通して多かった意見や、分かりにくかった説明  
に関するQ & A

### 1. 「将来の学校のあり方」に関して

Q. 義務教育学校とは何か。

A. 平成28年度に制度化された新しい学校で、9年間の義務教育を一つの学校で学びます。

Q. 5年毎の再検討では長すぎるのではないか

A. 早急に見直しが必要となる場合は柔軟に再検討を行います。

### 2. 「チーム担任制、特色ある教育活動」について

Q. 複式学級とチーム担任制は同じではないのか。

A. 複式学級は2学年を1人の教員が担当しますが、チーム担任制は複数の学年や学級を複数の教員が担当する点で全く異なるものです。

Q. 特認校制度開始の準備状況は。

A. 南砺つばき学舎の開校に合わせて開始する予定でしたが、一旦延期とし令和5年度から市内全学校で一斉に開始できるよう準備を進めています。

### 3. 「部活動の拠点校化」について

Q. 拠点校化の実施スケジュールは

A. 今年度中に拠点部活動を示し、令和4、5年を移行期とし、令和6年度に完全実施したいと考えています。遅れる可能性もあります。特認就学については特認校制度に合わせて令和5年度から開始する予定です。

Q. 放課後に合同部活動をすれば良いのではないか。

A. 学校内での部活動は午後4時45分までとなることに加え、南砺市は学校間の距離が遠いため、移動に時間がかかります。また、中体連では合同チームを組んで大会に出場するには制限を設けています。

Q. 学校を統合すれば済む話なのでは

A. 部活動を理由に統合はできません。現在の優れた教育環境を生かしながらデメリット

を克服するのが拠点校化案です。

Q. 部活動に入らない選択肢はないのか。

A. 現在も既にクラブチームなどで頑張っている生徒は、部活動に入らないことを認めています。

Q. 児童生徒からの意見聴取はしないのか。

A. 8月6日(金)に中学生との意見交換を行いました。今後の協議に生かしていきます。

Q. 部活動に積極的ではない生徒のことも考えてほしい。

A. 強さを求めるスポーツやコンクールで入賞を目指す以外の、部活動の設置についても検討していきたい。

#### 4. 共通事項について

Q. 市民(保護者)へのアンケートは実施しないのか。

A. 説明を聞いていただいたうえでアンケートを取らせていただくのが重要であると考えています。

Q. 特認校制度(部活動拠点校化)により別の校区へ通学する場合に、スクールバスは運行しないのか。

A. 自分の校区外の学校へ入学する場合には、ご家庭で責任を以って送迎していただくことが基本になります。なんバスなど公共交通機関を利用する場合の補助は今後検討します。

Q. 特認校制度(部活動拠点校化)に可否の基準はあるのか。

A. 基本的には子供が望めば転入学を認めることにはなりますが、学校のクラス編成に影響を与えることも想定されるため、これから制度設計していきます。

Q. 特認校制度(部活動拠点校化)は、南砺市が掲げる地域を基盤とする教育と相反するのではないか。

A. 自分の居住する地域の校区が基本にあり、どうしてもやりたい活動がある場合のみ就学を認めるものです。